

公民科倫理授業細目 2024

1 「倫理」とはどのような授業か —— 授業担当者より

「倫理」と「道徳」は、ほぼ同じ意味をあらわす言葉だと考えられている。しかし、高等学校公民科「倫理」という科目は、一般的に「善」とされることを何も疑うことなく行い、さらには、自分が正しいと思う判断を他者にも「正しい」が故にそれを強要するような国民を育てるための科目ではない、と私は考えている。それよりむしろ、「善」とはなにか？ 「正しい」という判断はどのような種類の判断なのか？ ということについて自分の頭で考えて、自分なりの答えを出して、その結果、自分の行動に自分の思想を反映することができるような生徒を育てる科目である、と考えている。

たとえば、戦前の教育の基本方針だった『教育ニ関スル勅語（いわゆる教育勅語）』の何が間違っていたのか。それは、「忠」という徳目で天皇を長とする国家に対する忠誠心を、「孝」という徳目で父親を長とする家族に対する孝行心を大日本帝国の臣民に強要していたことである。その結果として、個人の人権や自己決定権よりも国家集団や家族集団を優先する全体主義的価値観が「善」とされ、時代が進むにつれてナショナリズムや軍国主義に疑いを差し挟む者は「非国民」として排除される教育が行われるようになったのだ。つまりは、偏狭な価値観を強要する教育は間違っていたということが、戦後になって確認されたわけだ。自分が国家のために命を尽くしたいと思うのはもちろん個人の自由だが、それをすべての国民に強要するとき教育は認められないということ。それが戦後民主主義の常識となっている。だからこそ、私は高校生の価値観や価値判断は他人に押しつけられるべきものではなく、自分自身で形成すべきものだと考えている。

ここで、価値判断とは何か、ということについて考えてみよう。判断には、「事実判断」と「価値判断」の区別がある。それは、「事実」と「意見」の区別に対応する。「今日の佐倉の天気は雨だ」という判断は、北海道出身者であろうと沖縄出身者であろうと、真か偽か的事实を確かめることができる判断である。一方、「今日の佐倉は涼しくて心地よい」という判断はそれを感じる人によって真偽が明らかに変わる、価値に関わる判断である。同じように、共通テストなどのペーパーテストに出題される問題は、〇か×かを確かめることができる事実判断だが、小論文などで要求される意見は、〇か×かを確定できない価値判断であるといえる。たとえば「快楽の量を数値化することは正しい」という価値判断を含んだ言明については、本当に数値化できるかどうか、それが正しいかどうかなどの点で、事実か否かを判断することは困難である。しかし、「功利主義者ベンサムは快楽の量は計算可能だと述べた」という言明は、彼の著作を調べれば、真実の事実かどうかを簡単に明らかにすることができる。

ここで、事実判断と価値判断の違いを整理してみよう。

事実判断： その判断が真か偽かを経験的に検証することができる判断

例1) 坂本龍一はアカデミー賞作曲賞を受賞した。 例2) プラトンは民主政治を否定した。

価値判断： 誰かが何かについて積極的あるいは消極的評価を与える評価判断

例3) ジブリ映画は幼稚だ。 例4) 無知な民衆が支配する民主政治は国家に正義をもたらすことができない。

※ 価値の判断は快楽（快・苦）、利益（利・害）、正義（正・邪）などを基準にして、伝統・慣習、内部の信念、他者の評判や流行をよりどころにして行われる。また、義務（～すべきである）や命令（～せよ）という判断は規範的判断と言われ、これも真偽を一面的・一義的に検証することはできない。

注意しなければならないのは、倫理の教科書の中にも事実判断と価値判断が混在しているということだ。さらには、残念ながら教科書の記述の中にも、高校生向けに簡略化されているがゆえに事実誤認的になってしまっている部分もある。「真理」とは何かというテーマについてはミシェル・フーコーの思想を扱う際に触れるが、教科書に書かれていることは所詮「教科書的な真理」にすぎない。それは、広いジャンルの読書が続けていれば容易に分かってくることだ。生徒の皆さんは、教科書の意見やたくさんの思想家や宗教家の意見、そして私片岡の意見を噛み砕き、咀嚼しながら、のんびりと焦ることなく自分自身の人間観や世界観そして価値判断のための枠組みを選び取っていただけたら、と思う。そして、どんなテーマであっても臆することなく論じることができるために、教養という工具箱のツールを増やして健全な批判精神を磨いて欲しい。

2 公民科「倫理」の目標

2.1 文部科学省により学習指導要領に定められた目標

【目標】人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。
- (3) 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

2.2 この授業での目標

1. 高校卒業、あるいは大学受験に必要な程度の「倫理」的知識と教養、さらには思考力を習得する。
2. 高度な概念や理論が書かれたテキストを論理的・構造的に読み取って理解し、身に付ける技能を養うとともに、概念や理論を自分の力で構成し、それを言語化して表現する力を養う。

3 使用教材等

3.1 教科書・資料集

【教科書】『倫理』東京書籍

【資料集】『テオリア 最新 倫理資料集』

3.2 推薦図書

『倫理用語集』山川出版社：座右の書として常に読んでください。

「片岡の倫理授業プリント」：(旧版のすべてのプリントを下のウェブサイトから PDF 形式のファイルでダウンロードできます)

「片岡の定期考査過去問及び解答解説」：同じく下のウェブサイトからダウンロードできます。

4 授業担当者

教科担当：片岡 勝規

URL：<http://k-katsunori.la.coocan.jp/> 【片岡勝規の公民科倫理教科研究室】



倫理、倫理研究、昼の講習講座とオンデマンド講習も含めた講座の全構成

内 容	講 座
思想の源流（ギリシャ哲学・キリスト教思想） 西洋近現代思想	倫理授業（2単位）
青年期の課題と自己形成・現代社会の特質と人間	「倫理研究」講習講座 木曜 7:30～8:15（4月～10月）
「東洋思想（仏教・中国思想）」	夏季講習「東洋思想」
「日本思想」	夏季講習「日本思想」
共通テスト（センター）倫理過去問演習	木曜 7:30～8:15（10月～1月）

5 学習計画（予定）

「倫理」（2単位）学習内容	時期	「倫理研究」講習 学習内容	時期
0 ガイダンス公民科「倫理」とは何か 2 思想の源流（9項目） <i>21 古代ギリシアの思想</i> 211 神話から哲学へ 212 ソフィストとソクラテス 213 プラトン 214 アリストテレス 215 ヘレニズム時代の思想 第1回考査 22 キリスト教の思想と信仰 221 ユダヤ教・旧約聖書の思想 222 イエスの教え 223 原始キリスト教 224 キリスト教の展開	前期	1 青年期の課題と自己形成 101 人間とは何か？ 文化とは何か？ 102 欲求と適応 103 パーソナリティの形成 104 青年期の心理と課題 5 現代社会の特質と人間 501 現代社会の家族と女性の社会進出 502 高齢社会 503 情報社会 504 都市化・組織化と大衆化社会 505 国際化社会 506 環境倫理 507 生命倫理	前期
4 西洋近現代思想（17項目） 41 近代思想の誕生 410 中世末期西ヨーロッパの時代と思想 411 ルネサンス 412 宗教改革 413 近代自然科学思想 414 イギリス経験論 415 大陸合理論 416 モラリスト 42 近代思想の展開 421 社会契約説 422 啓蒙思想 423 カントとドイツ観念論 424 功利主義 utilitarianism 43 現代の思想 431 実証主義・進化論 432 社会主義 433 プラグマティズム 434 実存主義（実存哲学） 435 現代のヒューマニズム 436 20世紀後半の思想	後期	夏季講習「東洋思想」学習内容	夏季休業中
		2 思想の源流（8項目） 23 仏教の思想と信仰 231 仏教以前の思想 232 仏陀の教え 233 仏教の展開 24 古代中国の思想 241 古代中国思想と諸子百家 242 儒家思想とその発展 243 朱子学と陽明学 244 道家（老荘）思想 25 イスラームの思想	
		夏季講習「日本思想」学習内容	夏季休業中
3 日本の思想（13項目） 301 古代日本の思想と文化 302 仏教伝来、奈良・平安仏教 303 鎌倉仏教 法然 親鸞 一遍 304 鎌倉仏教 栄西・道元と日蓮 305 日本儒学 朱子学派 林羅山 306 日本儒学 中江藤樹 伊藤仁斎 307 国学 本居宣長 308 農民・町人の思想 309 洋学・啓蒙思想 310 自由民権運動・国家主義 311 日本のキリスト教・社会主義・大正デモクラシー 312 近代的自我と文学 313 西田幾多郎と和辻哲郎			

斜体文字の項目は片岡の授業動画を見ることができます

授業動画 受講者用サイト

<http://k-katsunori.la.cocan.jp/seminar/seminar.html>



洞窟の哲学 monologos 一人で自問自答し思索を深める

哲学カフェに入る前に、まずは10分間「〇〇」とは何かについての思索を深めよう。

◆人間にとって「〇〇」とは何だと思えますか。あなたの考えを書きましょう。

考えるヒント

- ・まずは具体的な例をたくさん挙げてみよう。(具象化)
- ・それらの例に共通しているのは何かを考えてみよう。(抽象化)
- ・それらを分類するとどうなるか考えてみよう。(カテゴライズ)
- ・疑問文の形で自分に問いかけ、答えを考えよう。(思索の深化)
- ・考えることを止めないで、他にはないか考え続けよう。(思索の拡大)
- ・その問題の本質は何かを考えよう。(本質抽出)
- ・自分らしい個性ある発想をしよう。(オリジナリティ)

◆哲学カフェ（広場の哲学）の準備

机を合わせて、合計6つのグループを作ってください。

グループを作ったら、進行係（挙手した人に発言をうながしたり、メンバーに意見を求めたりします）と記録発表係（対話の様子を簡単にまとめ、後で全体に発表します）を1人ずつ決めてください。

広場の哲学 dialogos 話し合うことによって思索を深める

哲学カフェ（20分間）のルールは以下の通りです

リラックスした雰囲気でも話し合ってみてください。

意見を述べたい人は必ず挙手をしてください。

進行係は挙手した人の中から発言者を指名してください。

意見を述べたい人は進行係から指名されてから発言してください。

意見を述べている人の話が続いているうちは挙手をしないでください。

意見を述べた人に対して質問をしたい時も挙手をしてください。

記録発表係は発言のすべてではなく、要点や興味深い意見を、後で発表できるように書き留めておいてください。

進行係も記録発表係も、自分の意見や質問がある場合は、挙手して話してください。